



「沖縄交通なび」のモデル実験について

1 実証実験の実施

内閣府沖縄総合事務局は、平成十五年度の実証実験事業として携帯電話のホームページ閲覧機能を活用した交通情報の提供に係るモデル実験を実施する予定です。モデル実験では、①タクシーの無線局情報、事業者情報、団体情報等を提供する「沖縄タクシーなび」のシステムと、②モノレール、バス、船舶等の公共交通の運休、経路変更、臨時ダイヤ等の運行情報を提供する公共交通運行情報提供システムを携帯電話3キャリア（imode、Ez-web、vodafone）及びパソコンのホームページとして構築し、次ページのような情報を提供するとともに、利用者等に対するアンケート調査を実施し、今後の改善点を検討します。これらのシステムは、①全国的な展開も可能な汎用性・拡張性のあるシステムとすること、②運用経費を最小限とするため、原則として、事業者や事業者団体が直接必要なデータを投入するシステムとすること、等の方針のもと、構築される予定です。

なお、システムは現在構築中であり、システムの構築とデータの投入が完了次第、平成十六年三月十日（水）から実験を開始する予定です。また、実証実験の結果が良好であれば、関係する事業者団体等による本格運用を行う方向で調整が進められています。

以下、それぞれのシステムの狙いと概要を解説します。

2 沖縄タクシーなび

沖縄においては、近年、タクシー事業者の皆さんの創意工夫により、様々な新しいサービスが提供されるようになってきた。サージの水準も多様化してきていますが、その情報が利用者にあまり知られていないため、新しいサービスの利用や良好なサービスを提供する事業者の選択が必ずしも十分には進んでいないものと思われまます。また、市街地中心部では流しによる利用が中心ですが、周辺地域や郊外では流しでタクシーを拾うことは難しく、その地域のタクシー無線局の電話番号がわからなければ、タクシーが流して

る場所まで歩いたりバスを利用せざるを得ません。

このため、「沖縄タクシーなび」の構築により、

・流しのタクシーを拾いにくい地域等での潜在的なタクシー需要が顕在化し、利用者や乗車距離が増える。

・特別なサービスの利用が増える。

・良質なサービスを提供する事業者の利用が増える。

・流し比率が減少し、無線比率が拡大する。

・広告宣伝経費が節約できる。

・行政機関や事業者団体、タクシー事業者への苦情の申し立てが容易になる。（苦情は乗務員に対する指導監督を効果的に引き、サービス水準や企業イメージを維持向上するための貴重な情報源である。）

等の効果が見込まれ、利用者にとって便利であるだけでなく、良好なサービスを提供する事業者により、中長期的にはタクシー事業の活性化につながっていくことが期待されます。

3 公共交通運行情報提供システム

この「沖縄タクシーなび」は、タクシー業界全体のタクシー需要を増加させる方向で働く一方、苦情の申し立ても容易となり、事業者によっては苦情の増加が予想されることから、モデル実験への事業者の参加は任意であり、提供する情報は参加を希望した意欲的な事業者の情報に限定する予定です。

従来、台風等の自然災害やストライキの発生時、祭り、マラソン大会等の行事の開催時には、関係する事業者から利用者に対し運行情報をバスの停留所等へ掲示することにより周知を図っていました。

しかし、バスの停留所等への掲示については、①台風や地震等の自然災害の際にはそもそも掲示が困難であること、②利用者はバスの停留所などに出向かないと情報が入りできないこと、等の問題があり、電話による問い合わせによる対応については、①問い合わせ



運輸部

が殺到した場合には電話がつながりにくいこと、②詳しい情報を電話でやりとりするには限界があること、③問い合わせが可能な時間が営業時間に限定されること等の問題があり、さらに、テレビやラジオでの放送については、①テレビやラジオがある場所しか情報が入手できないこと、②放送時間が限定されていること、③詳しい情報の放送には限界があること、等の問題があります。パソコン用ホームページでの掲示についても、①パソコンの家庭普及率が必ずしも高くないこと、②出先からの確認が難しいこと、等の問題があります。

このため、近年急速に普及しており、どこでも利用可能な携帯電話を活用し、公共交通機関の利用者に対して携帯電話のホームページ閲覧機能を用いた公共交通機関運行情報の提供を行えば、利用者がこれらの情報を容易かつ迅速に入手できるようになり、上記のような問題点が相当程度解消できるものと考えられるため、公共交通運行情報提供システムのモデル実験を行うことになりました。

なお、本システムは、①提供情報の最新性の確保、②提供情報の誤りの防止、③運用費用の削減等の観点から、ホームページの掲示板機能を活用し、各公共交通事業者

提供予定情報一覧

I. 沖縄タクシーなび

(1) 無線局別、事業者別

- ① 事業者名
- ② 規模
- ③ 利用者向けPR文
- ④ 主たる事務所
- ⑤ タクシー営業所
- ⑥ ハイヤー営業所
- ⑦ 無線局情報
- ⑧ インターネットでの情報提供

(2) サービス別

- ① 車 両
ジャンボタクシー、禁煙タクシー、ベースタクシー
- ② 乗務員
制服、ネクタイ、かりゆしウエア、政府表彰、外国語、女性乗務員
- ③ 観 光
時間制運賃、観光ルート別運賃、公的観光関連資格
- ④ 福 祉
福祉車両（車いす）、福祉車両（寝台）、ホームヘルパー2級
ケア輸送サービス従事者、手話、指定居宅サービス事業者
バリアフリー観光ルートの作成・案内、障害者割引

⑤ その他関連サービス

タクシー代行、タクシー便利屋

⑥ 運賃・料金

安価な基本運賃、距離制運賃の割引、時間制運賃の割引

⑦ 支払方法

クレジットカード可、クレジットカード会社発行チケット可
デビットカード可

⑧ 特 典

マイレージタクシー

⑨ その他

服装規程、チケット・クーポン取扱、乗務員講習会、人事考課

II. 公共交通運行情報提供システム

(1) モノレール

運休情報、遅延情報、臨時ダイヤ情報 等

(2) バス

運休情報、遅延情報、運行経路変更情報、臨時ダイヤ情報 等

(3) 旅客船

運休情報、遅延情報、運航航路変更情報、臨時ダイヤ情報 等

(4) 航空機

※各航空会社グループのホームページにリンクする。

に対してID、パスワード等を付与するとともに、予め定めるルールに従い、各公共交通事業者が自ら提供情報の書き込み・修正・削除を行うことにしています。

なお、モデル実験では「沖縄タクシーなび」と同様に、当面は参加希望する事業者の情報のみを提供しますが、本格運用を行う場合は、参加事業者を拡大する方向で検討を進めたいと考えています。

「沖縄交通なび」 <http://otns.jp>